

# 局の動き

## 運輸部

### 沖縄観光振興会議を開催!

米国における同時多発テロ事件発生後の沖縄観光を取り巻く状況を踏まえ、平成13年11月4日(日)那覇市内のホテルにおいて扇国土交通大臣の出席のもと、第一回沖縄観光振興会議が開催されました。

同会議では、冒頭、扇大臣及び稲嶺知事からご挨拶があった後、沖縄県及び関係各業界から沖縄観光に関する現状及び今後の取り組みについて報告がなされ、その後各委員による自由討議が行われました。活発な討議の結果、次の5項目が決定され実施することとなりました。イベント、観光キャンペーン等の実施による正確な情報の提供と観光需要拡大のための取り組みを、会議出席者が一丸となって推進する旨の沖縄観光振興宣言の採択、200名を目標に沖縄に修学旅行教育関係者を招聘する事業の早急な実施、日独観光交流促進会議の今年度における沖縄での開催、

国際観光振興会による沖縄への外客誘致支援策の実施、日本観光協会による都道府県・指定都市観光協会会长等会議の沖縄での開催。



沖縄総合事務局(運輸部)としても、沖縄観光振興会議で決定された5項目にわたる取り組みを着実に実施するとともに、長期的に安定した沖縄観光の成長を図るためにの施策を講じていくこととしています。

## 開発建設部

### 「琉球歴史回廊」のホームページ開設

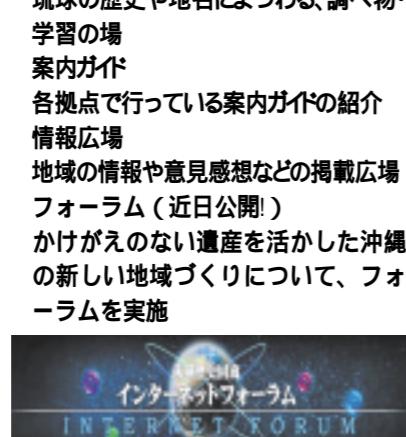


平成9年度の「沖縄政策協議会」において提案され、調査検討を進めてきた「琉球歴史回廊構想」の推進方策の一環として、この度ホームページを開設しました。

琉球歴史回廊とは、沖縄に残るグスクなどの遺跡を中心とした歴史・文化的な共通性を有する拠点を連携し、概念的な回廊を形成していくという構想です。

ホームページの内容  
琉球歴史回廊に行く  
テーマ拠点の紹介  
ライナリー

琉球の歴史や地名にまつわる、調べ物・学習の場  
案内ガイド  
各拠点で行っている案内ガイドの紹介  
情報広場  
地域の情報や意見感想などの掲載広場  
フォーラム(近日公開!)  
かけがえのない遺産を活かした沖縄の新しい地域づくりについて、フォーラムを実施



開設日:平成13年10月1日(月)  
ホームページアドレス  
<http://www.dc.ogb.go.jp/kyoku/kairo/index.html>

## 開発建設部

### 平成13年度全国道路標識週間の実施

平成13年10月1日から7日まで、各道路管理者、公安委員会の協力のもと全国道路標識週間を実施しました。

今年の活動は、ポスター掲示、ラジオ放送、道路情報板、電光掲示板等による広報、街頭でのリーフレット配布を行いました。

また、沖縄県庁1Fロビーにてパネル展示を行いました。展示内容としては、道路に設置されている案内標識を实物大で再現したパネルの展示を行い、高さ2.2m、幅2.8mの大きさに多くの来客者の目をひきつけました。そのほか標識の役割や種類、諸外国の標識やおもしろ標識等のパネルも展示了しました。

さらに、RBCラジオの番組でインタビューを受け、週間のPRを生放送で行いました。

なお、道路標識・表示に関する一般の方からの意見を求めるための標識BOX(意見箱)を現在県内32箇所に設置しており、今後の標識整備に反映していくこととしています。(道路管理課)



# 局の動き

## 経済産業部

### 「全国地域情報化推進会議(情報化フェスタ)」開催

去る10月18日~19日の2日間にわたり、「全国地域情報化推進会議(情報化フェスタ2001)」(主催:経済産業省、共催:沖縄県、名護市)が、名護市万国津梁館において開催され、延べ300人超の入場者がありました。

本年度のテーマは「21世紀のIT戦略 - 豊かなネットワーク型社会新時代を探る -」で、初日は、伊藤滋早大教授から「都市再生の最近の動向」、牧野浩隆沖縄県副知事から「沖縄県のIT施策」についての基調講演がなされました。



また、海外事例紹介では、多機能型ICカードを使った取組で、世界最先端との評価を受けているヴァンター市(フィンランド)のセキュア(安全堅固)な統合型行政サービスについて、情報技術プロジェクトマネージャのアホネン女史から報告がありました。

二日目は、「電子自治体の構築と地域情報化への対応」と「ブロードバンド時代の地域コンテンツ流通のあり方」の二つの研究会がシンポジウム形式で開催され、パネリストから、現状・課題・今後の展望等の説明がなされた後、コーディネータによる提言と取りまとめが行われました。

また、ラウンジ棟においては、2日間を通して、沖縄県内で展開されている地域情報化関連の経済産業省施策、県独自の事業のパネル展示と実演プレゼンテーションが行われ、イベント終了後は、名護市マルチメディア館、NTT104センター、宜野座村サーバーフォーム(建設中)の視察も行われました。

## 農林水産部

### 「平成13年度公害防止管理者等資格認定講習(大気関係第3種)」を開催



農林水産部では、去る9月17日から9月21日までの5日間にわたり、沖縄県農業会館及び沖縄県水産会館において、「平成13年度公害防止管理者等資格認定講習(大気関係第3種)」を開催しました。

「特定工場における公害防止組織の整備に関する法律」では、一定規模以上の工場において、公害防止に関する組織体制を整備し公害防止を図るため、公害防止管理者等からなる公害防止組織の設置が義務付けられています。

このため、本講習においては、公害防止管理者等を育成するため、公害防止に関する必要な知識・技能を修得させるための講義が行われました。具体的には、公害概論、大気汚染関係法令、燃焼ばい煙防止技術、大気中におけるばい煙の拡散、除じん・集じん技術及び測定技術の6科目について、34時間、7名の講師による講義が行われました。

本講習を修了した者(テストを実施し合格基準をクリアした者)には国家試験を合格した者と同等の資格が与えられることになっておりますが、沖縄県においては、復帰の年の昭和47年から平成12年度までに625名の方々が資格を取得しており、本年度は、新たに、46名の方々に資格認定講習の修了証書が交付されました。

今後、これら資格認定者が、それぞれの現場において、公害防止施設の整備と施設の管理等の公害防止の実務に携わることとなります。

## 財務部

### 「金融講演会」について

去る9月5日財務部主催による金融講演会が那覇市において行われ、県内の金融関係者約80余人が出席しました。講師には金融庁監督局総務課長の木下信行氏を迎え、「金融資本市場の課題と施策」と題して講演が行われました。

木下氏は、講演の中で国政の中で重要な課題となっている我が国の不良債権問題について、米国の事例を紹介しながら日本経済の構造改革と金融機関の健全性という二つの観点から抜本的な解決が必要であることや、地域金融機関についても不良債権の圧縮はペイオフ解禁への対応としても重要であり、また、金融機関の財務の健全性を広く預金者等に知らせるための広報活動が必要である旨を説明し、証券市場についても構造改革、活性化を進めていくことが大きな課題であると述べられました。

講演終了後の意見交換では、地域金融機関のオーバーバランス化の推進や銀行等保有株式等取得機構(仮称)についての質問等活発な意見が交わされました。

